

ぬかづけ 日記 最終回③

白糠町のPRのことばかり考えるわたし
白糠漬けの日常より。

地域おこし協力隊

キタダ ジュンコ
北田 純子



Profile

1973年11月23日生まれ。
千葉県千葉市出身
2019年4月から白糠町の観光をPRする地域おこし協力隊として着任。
趣味は映画鑑賞、読書、アウトドア。

■北田純子ブログ

「シラヌカAtoZ」
<https://shiranuka.wixsite.com/atoz>



◆おもしろかった本／「ふざける力」ワクサカソウヘイ著

連載最終回ですが いつもの感じでまいります

2019年9月号から続いた当連載もいよいよ最終回です。何を書こうか迷ったのですが、いつも通りでまいります。2020年初頭に人類を襲ったコロナウイルス感染拡大。本町の観光PR担当として採用された私は、着任2年目すぐに、コロナ禍により仕事の機会のほとんどを失いました。しかし、役場の皆さんから声をかけていただいたこともあり、役場発信の各種メディア制作、本町初となる婚活イベントやふるさと納税のイベント取材、学校での講義、生徒さん考案料理のメニュー化、町内事業者さまのPRのお手伝いな

ど、観光PRにとらわれず、さまざまなことに関わらせていただきました。

町の方々を知り合い、交友を深め、そんな中でいろいろと話をさせていただき感じたのが、年齢性別関係なく「こんなチャレンジをしてみたい」という思いを持つ方が多いということです。例えば、「みんなの健康のために、林道を整備して、ハイキングや軽登山を楽しめるようにしたい」「旧白糠線跡を整備して観光資源に」「町産の生乳を使って、乳製品を製造販売できる工房を作りたい」「学校の中にカフェを作りたい」「廃校を活用してキャンプを楽しめる場にしたい」などなど。いや、すべてです！一つでも実現したあ

かつときには、町内の皆さんが楽しくなるのももちろん、町外からも多くの人が訪れると思うんですよ私！こうしたお話をするとき、皆さんの目はとってもキラキラ輝いています。私も任期終了後を見据えていろいろ動いている最中ですが、皆さんからとても前向きなパワーをいただいています。もちろん実現にはさまざまなハードルがありますが、まずは一歩踏み出すだけです。それが何かが大きく変わると思っています。

今回でこちらの連載は終了ですが、町公式フェイスブックやインスタグラム、町紹介ブログ「シラヌカAtoZ」は、変わらず私が取材&更新してまいりますので、引き続きご覧ください。そして、皆

さんご自身も『白糠町PRアンバサダー』として、町の魅力をどんどん発信していただけると幸いです。町の魅力といっても、大げさなことではないんです。「町でこんなことがあったよ」「あそここんなこと・こんなものをみかけたよ」「町でとれたこんなもので料理を作ったよ」といった『日常』を、SNSでも口頭でも、電話でも手紙でも、何でもよいので、あなたの大切な人・親しい人に伝えてください。それが何よりの『白糠町のPR』です。それでは永らく連載をご覧いただき、誠にありがとうございました！

来年3月末まで隊員活動は続きますので、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。